プレスリリース

2010年6月23日（慰霊の日）において「琉球自治共和国連邦独立宣言」を発表します。独立宣言は英訳、中国訳、仏訳を進めており、関係政府、国連、国際機関や組織、マスコミに配布する予定です。

本プレスリリースは、宣言文本文のほか、2010年6月22日現在の賛同人一覧を添付しています。

独立宣言の理由や背景、琉球国の将来像等については、松島泰勝が藤原書店から来月刊行される雑誌『環』第42号に寄稿した論考をご参照ください。

以上ですが、どうぞよろしくお願いします。

松島泰勝（龍谷大学、ゆいまーる琉球の自治）

連絡先：matusima345@yahoo.co.jp

090-9180-8778

琉球自治共和国連邦

独立宣言

2010 年、われわれは「琉球自治共和国連邦」として独立を宣言する。現在、日本国土の 0.6%しかない沖縄県は米軍基地の 74%を押し付けられている。これは明らかな差別である。2009 年に民主党党首・鳩山由紀夫氏は「最低でも県外」に基地を移設すると琉球人の前で約束した。政権交代して日本国総理大臣になったが、その約束は本年 5 月の日米合意で、紙屑のように破り捨てられ、辺野古への新基地建設が決められた。さらに琉球文化圏の徳之島に米軍訓練を移動しようとしている。日本政府は、琉球弧全体を米国に生贄の羊として差し出した。日本政府は自国民である琉球人の生命や平和な生活を切り捨て、米国との同盟関係を選んだのだ。

琉球人は 1972 年の祖国復帰前から基地の撤去を叫び続けてきたが、今なお米軍基地は琉球人の眼前にある。基地があることによる事件・事故は止むことがない。日本国民にとって米軍の基地問題とは何か？琉球人を犠牲にして、すべての日本人は「日本国の平和と繁栄」を正当化できるのか？われわれの意思や民族としての生きる権利を無視して米軍基地を押し付けることはできない。いまだに米国から自立することができない日本国の配下にあるわれわれ琉球人は、絶えず戦争の脅威におびえ続け、平和に暮らすことができない。

琉球人はいま、日本国から独立を宣言する。奄美諸島、沖縄諸島、宮古諸島、八重山諸島からなる琉球弧の島々は各々が対等な立場で自治共和国連邦を構成する。琉球は三山時代（14Ｃ半ば～15Ｃ初期）を経て、1429 年に琉球王国として統一された。その後 1609 年、薩摩藩は琉球王国に侵略し、奄美諸島を直轄領とし、琉球王国を間接支配下に置いた。1850 年代半ばに琉球王国は米・蘭・仏と修交条約を結んだ。1872 年に日本国は琉球王国を一方的に自国の「琉球藩」と位置づけ、自らの命令に従わなかったという理由で 1879 年、「琉球処分」を行い、「琉球王国」を日本国に併合した。その後、琉球王国の支配者たちは清国に亡命して独立闘争を展開した。日本国に属した期間は 1879 年から 1945 年、1972 年から 2010 年までのわずか 104 年間にすぎない。琉球が独立国であった期間の方がはるかに長いのである。

太平洋の小さな島嶼国をみると、わずか数万の人口にすぎない島々が独立し国連に加盟している。これらの島嶼国は、民族の自立と自存を守るために、一人ひとりの島民が「自治的自覚」を持って独立の道を選んだのである。国際法でも「人民の自己決定権」が保障されている。琉球も日本国から独立できるのは言うまでもない。

これからも日本政府は、「振興開発」という名目で琉球人を金（カネ）で支配し、辺野古をはじめとする基地建設を進めていくだろう。長い歴史と文化、そして豊かな自然を有するわが琉球弧は、民族としての誇り、平和な生活、豊かで美しい自然をカネで売り渡すことは決してしない。平和運動の大先達・阿波根昌鴻は「土地は万年、金は一年」と叫び、米軍と闘った。われわれ琉球人は自らの土地をこれ以上、米軍基地として使わせないために、日本国から独立することを宣言する。そして独立とともに米軍基地を日本国にお返しする。

2010 年 6 月 23 日　慰霊の日に

呼びかけ人　松島　泰勝(龍谷大学、ゆいまーる琉球の自治)
石垣　金星(西表島郷土史家)

賛同人

前利潔（沖永良部島）
上勢頭芳徳（竹富島）
内間豊（久高島）
新元博文（奄美大島宇検村）
高良勉（沖縄島南風原）
謝花悦子（わびあいの里/伊江島）
平恒次（イリノイ大学/宮古島出身）
久岡学（奄美大島龍郷町）
森本眞一郎（1609 年を考える奄美三七の会）
山田隆文（鹿児島在住奄美大島出身者）

照屋みどり（沖縄島豊見城）
本村紀夫（宮古島）
渡名喜守太（琉球弧の先住民族会）
島袋マカト陽子（琉球センター・どぅたっち）
太田武二（琉球センター・どぅたっち）
玉城義久（奈良沖縄県人会）
上原成信（一坪反戦地主会関東ブロック）
石坂蔵之助（沖縄市泡瀬）
喜久里康子（沖縄市民情報センター）
新垣重雄（石垣島）

当真嗣清（琉球弧の先住民族会）
島袋倫（ウチナーグチ振興研究家）
まよなかしんや（アイヌ民族と連帯する沖縄の会）
アイヌ・ラマット実行委員会
藤原良雄（藤原書店）
西川潤（早稲田大学）
上村英明（市民外交センター/恵泉女子大学）
竹尾茂樹（明治学院大学）
佐藤幸男（富山大学）
大林稔（龍谷大学）

西浜楢和（沖縄通信）
中村尚司（龍谷大学）
崔真碩（広島大学）
手島武雅（先住民族政策研究者）
日比野純一（FM わぃわぃ）
大河内秀人（江戸川区・僧侶）
秋林こずえ（立命館大学）
金子マーチン（日本女子大学／反差別国際運動事務局）
金子えりか（在ロサンジェルス）